

「Vibrant INOCHI Forest かながわ館」見どころ初公開

1. 公式ロゴマークの決定



<コンセプト>

県内 33 市町村を重なる葉っぱでシンボル化し、県と市の一体感を華やかなデザインで表現

<制作者>

国内外の企業向け空間アートなどで活躍されているデザイナーの小田 佑二さん

2. マスコットキャラクター「VIBRANTS(バイブランツ)」と「モモーン」の誕生



Vibrant INOCHI の木から生まれた「いのち」を象徴する葉っぱのキャラクター「VIBRANTS(バイブランツ)」と、同じ森で暮らす、好奇心いっぱいの子どものニホンモモンガ「モモーン」。

個性豊かな VIBRANTS とモモーンは大の仲良し。森の中で一緒に遊んだり、新しいものを見つけたりしながら暮らしています。

今後は、Vibrant INOCHI Forest かながわ館のマスコットキャラクターとして、VIBRANTS とモモーンが館内外のさまざまな場面でかながわ館の魅力を伝えていきます。

3. オリジナル映像作品を Vibrant INOCHI Forest かながわ館のシアターで上映！



「VIBRANTs」と「モモーン」も登場するオリジナル映像作品をかながわ館のシアターで上映！
屋内展示施設のシアターで上映するのは、

完全オリジナルストーリー「Vibrant INOCHI Forest - あなたといのちと未来と -」。
ここでしか体験できない、驚きと発見に満ちた「いのち」をめぐる壮大な物語をお届けします。

<物語紹介>

数億年の時を超え、「いのち」をめぐる壮大な冒険へ。

森で元気いっぱい暮らす子どもの二ホンモモンガ・モモーンは、ある日、森に起きた変化をきっかけに、仲間の VIBRANTs とともに時空を超える冒険へ旅立ちます。旅の先に広がるのは、壮大ないのちの世界。時空を超えて広がるさまざまな景色や出来事の中で、出会い、発見し、気づいていく。あなたも一緒に、驚きと発見に満ちた、いのちの物語を体験してみませんか。

4. 常設展示内容の一部を公開！

県は、「Vibrant INOCHI～一人ひとりの“いのちが輝く”」をメインテーマに、「持続可能な社会づくり」「共生社会の実現」「未病(ME-BYO)の改善」の3つをサブテーマに掲げ、様々なコンテンツを展示します。

●<屋内展示>シロナガスクジラの頭骨標本

「かながわプラごみゼロ宣言」の契機となったシロナガスクジラの頭骨標本を常設で展示します。

プラスチックごみによる海洋汚染が今、世界規模で大きな社会問題となっています。

2018 年夏、鎌倉市由比ガ浜に打ち上げられたシロナガスクジラの赤ちゃんの胃の中からプラスチックごみが発見されました。

SDGs 未来都市である神奈川県は、これを「クジラからのメッセージ」として受け止め、持続可能な社会を目指す SDGs の具体的な取組として、深刻化する海洋汚染、特にマイクロプラスチック問題に取り組んでいます。

写真:国立科学博物館 特別展「大哺乳類展2ーみんなの生き残り作戦」



●＜屋内展示＞デジタル地球儀

NPO 法人 ELP 代表理事・ZEN 大学知能情報社会学部の竹村眞一教授が開発した、実際に触ることのできるデジタル地球儀を常設で展示します。

デジタル地球儀では、宇宙から見た地球のリアルタイム映像に加え、脱炭素や環境問題について学ぶことができる様々なコンテンツを体験することができます。



(発表会で紹介できなかった見どころ)

●＜屋内展示＞未病指標と ME-BYO BRAND 認定機器の展示

未病を知るきっかけづくりとなるよう、未病指標と ME-BYO BRAND 認定機器を複数展示し、かつ、体験できるコーナーを常設で設置します。



●＜屋内展示＞ともいきアート作品の展示

作品を入り口として、ともに生きる社会への理解を深めてもらえるよう、ともいきアート展のディレクターにより、会期中入替えながら、複数のともいきアート作品を展示します。



● ＜庭園＞かながわの花壇

かながわ館の庭園中央部には、「かながわの花壇」を設け、開幕時はナノハナ、その後は神奈川県が全国有数の産地であるパンジー、7月にはかながわ花咲かスクールプロジェクトのヒマワリを子どもたちに植えていただくなど、県産の花を中心に彩ります。花壇には大阪・関西万博の大屋根リングの木材を再利用します。



● <庭園> 農福連携の取組【アクアポニックス】

植物の水耕栽培と魚の養殖を組み合わせ、水資源を有効活用する循環型栽培システム「アクアポニックス」を設置します。
農業分野での活躍を通して障がい者の社会参画を実現する農福連携の取組として、アクアポニックスで育てる植物の苗は障がい者施設の利用者の方々に育成していただいたものを使用します。



● <庭園> 農福連携の取組【レイズドベッド】

車いすの方や立ったままでも作業のしやすいテーブル状の花壇「レイズドベッド」を設置します。園芸作業を通して心や体のリハビリにつながる園芸療法の実践として、誰でも参加できる植栽イベントを実施します。



● <庭園>【スマート農業(ジョイント栽培)】

神奈川県で開発された「樹木のジョイント仕立て」は、育成期間の短縮や作業の効率化につながる、画期的な果樹の栽培手法です。樹が直線的に並ぶため、ロボットや機械の導入に適しています。

ジョイント仕立ての植栽を中心にロボットが活躍する、スマート農業の姿を演出します。



● <庭園> GREEN LEADERSHIP CLUB による庭園

神奈川県内の農業関係高校5校の共創プロジェクトである GREEN LEADERSHIP CLUB が、「移り行く日本の四季」と「農業科で学ばわたしたちの日常」をコンセプトとした庭園を造ります。
5校の個性を生かしながら一つに繋ぐデザインとし、時期によって植栽内容を変えることで四季を感じられる庭園とします。



5. スタッフユニフォームのお披露目！

Vibrant INOCHI Forest かながわ館で皆さんをお迎えする、
「展示アテンダント」「運営スタッフ」のユニフォームを紹介します。

<ユニフォームデザイン>

かながわ館のメインテーマである“Vibrant INOCHI”一人ひとりの“いのちが輝く”を表現したデザインです。

○展示アテンダント(左)

県のイメージカラーの青色を基調とし、神奈川の空と海、そして森を表現

○運営スタッフ(右)

木や葉をモチーフに、輝きや豊かさを表したデザイン



<素材>

ユニフォーム素材は、サブテーマの一つである「持続可能な社会づくり」を具現化したもので、トウモロコシなどの植物由来のポリ乳酸を原料とした地球にやさしい繊維素材「ピエクレックス」を主に使用しています。

この素材は植物由来のため、製造時の CO2 発生量の抑制に貢献でき、閉幕後、ユニフォームは、回収し、堆肥として再活用します。

また、一部の生地には回収した服などをリサイクルして作られた循環型素材も採用しており、環境に優しいユニフォームとなっています。

スタッフユニフォームの素材

PIECLEX
A Murata Company

植物由来、かつ使用後は堆肥に還る
ピエクレックスの生地
(トウモロコシ、サトウキビなどが原料)

BRING
Material

リサイクル生地(繊維くず、回収された
服が原料)
新たな原料へとリサイクルされた循環型素材

<制作者>

広告や舞台衣装などを手掛けるコスチュームデザイナーの古芝佳奈さん